

能の旅人

第十八回公演

【第2部】 15時30分始

独調「夜討曾我」 坂井音隆・河村真之介

一調一声「江口」 味方玄・後藤嘉津幸・竹市学

能 「花月」

アフタートーク

【第1部】 13時始

独調「水無月祓」 観世喜正・後藤嘉津幸

一管「鷺」 竹市学

一調一声「小督」 味方玄・河村真之介

メンバートーク・装束着付け実演

半能 「養老 水波之伝」

能の旅人
MEMBER



観世流シテ方
観世喜正



石井流大鼓方
河村真之介



幸清流小鼓方
後藤嘉津幸



藤田流笛方
竹市学

ぎゅつと能楽!

令和六年六月二十九日(土) 於 栄能楽堂

【第1部】13時始

番組

独調 水無月被 観世 喜正

一管 鷺

小鼓 後藤嘉津幸

笛 竹市 学

一調二声 小督 味方 玄

大鼓 河村真之介

「能の旅人」メンバートーク
装束着付け実演

ツレ(観音) 観世 和歌

シテ(山神) 観世 喜正

半能 養老 水波之伝 橋本 宰

後見 金子仁智翔 奥川恒成

大鼓 河村真之介 加藤 洋輝
小鼓 後藤嘉津幸 竹市 学

大鼓 河村真之介 加藤 洋輝
小鼓 後藤嘉津幸 竹市 学

【第2部】15時30分始

番組

独調 夜討曾我 坂井 音隆

一調二管 江口 味方 玄

大鼓 河村真之介

小鼓 後藤嘉津幸 竹市 学

シテ(花月) 観世 喜正

能 花月 橋本 宰

アイ(清水寺門前の老) 鹿島 俊裕

大鼓 河村真之介 竹市 学
小鼓 後藤嘉津幸

後見 観世 和歌 石井 寛人

地謡 金子仁智翔 坂井 音隆 味方 玄 吉沢 旭

「能の旅人」アフタートーク

能「養老」

美濃の国・本巢の郡に不思議な泉が湧いたと聞き検分に訪れた帝の勅使(ワキ)は、きこりの老人(シテ)と息子(ツレ)から「養老の滝」の謂れを聞く。――両親を養うため山で仕事をしていた息子がある日その湧水を見つけて飲んでみたら疲れが癒えた。そこで老いた親にも飲ませてみると、心も身体も若々しく回復したことから、父が「養老の滝」と名付けたのだった。帝に良い報告ができる勅使が喜んでいると、あたりに吉兆が現れ、山神が登場し、帝の世を祝福して颯爽と舞を舞って消えて行く。今回は山神が現れる後半のみを「半能」としてご覧いただきます。

能「花月」

息子が行方不明になったことを契機に出家した僧(ワキ)は、諸国修行の途中で春爛漫の清水寺に立ち寄る。そこで、門前の者(アイ)の勧めにより都で人気の花月(シテ)という少年の芸を見る。小歌を歌い、清水寺の縁起を語り、達者な舞を見せる花月。その姿を見るうち、僧はこの花月こそ探し求めていたわが子だと気づき名乗り出る。花月は父との再会を喜び羯鼓を打ち、籠をすり、七歳で天狗にさらわれてから旅芸人として諸国を巡り歩いたつらい日々のことを物語ると、それも今日まで…と父に伴われて修行の旅に出る。

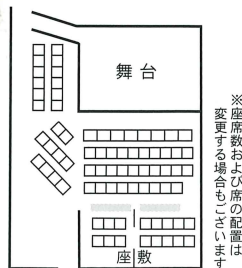
令和6年6月29日[土]

【第1部】13:00開演 / 12:30開場 ※終演14:15頃
【第2部】15:30開演 / 15:00開場 ※終演17:00頃

栄能楽堂 名古屋市中区栄5-6-4 栄能楽ビル4F ☎052-262-1183

チケット：全席指定 5,000円 ※定員約75名

発売開始 5月6日(月・祝) 10:00 ~ ※チケット発送は6月上旬より



地下鉄名城線 / 矢場町駅1番出口より 徒歩約6分
地下鉄名城線・東山線/栄駅12番出口より 徒歩約11分

【栄能楽堂について by 能の旅人】

日頃、我々がお稽古やイベント等で使用している、商業ビルの4階にある能舞台です。昔ながらの建物のため、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、これぞライブハウスのような感覚で、ぎゅっと凝縮された能楽のひとつをお楽しみください！

主催：能の旅人

能の旅人 [E-mail] noh-tabibito.2013@softbank.ne.jp
チケット受付専用 [TEL] 080-9116-5789

※電話・メールともに5月6日10:00より受付開始いたします。(フライングにご注意ください)
※電話が留守番電話の場合は【お名前・ご連絡先】をメッセージに残してください、折り返しご連絡を差しあげます。

◎1部・2部は入れ替え制です。チケット購入時にご希望の部をご指定ください。
◎会場には靴を脱いで入場していただきます。(下足袋をお渡ししますので、靴は各自にて管理をお願いします)
◎客席はパイプ椅子もしくはベンチシートを利用いたします。(座敷も椅子席となります)
◎エリアによっては冷房対策が必要なお席がございます。不安な方は予め上着・膝掛け等をご持参ください。
◎車椅子(バリアフリー)対応不可。学生席の設定もございません。